

エコプラザ西東京ニュース



エコエコ eco eco 第 16 号

発行 エコプラザ西東京

〒202-0011

東京都西東京市泉町 3 丁目 12 番 35 号

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586

Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

6月 は環境月間です！

6月5日は「環境の日」です。1972年に6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたもので、国連では、日本の提案を受けて6月5日を「世界環境デー」と定めています。日本では平成5年に制定された「環境基本法」で「環境の日」と定めています。

環境基本法の第十条で事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、環境の日を設けるとされています。さらに国及び地方公共団体は、環境の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならないとしています。

また、平成3年度からは、毎年6月の一ヶ月間を「環境月間」とし、全国で様々な環境行動につながる行事が行われています。西東京市では「環境フェスティバル in エコプラザ西東京」などが開催されます。

環境フェスティバル in エコプラザ西東京

6月19日(土)・20日(日)

エコ・クッキングでつくろう ～めぐみちゃんのお好み焼き～

地元のお野菜を使ってお好み焼きをつくります！

両日共に

1回目 11:20～12:20

2回目 12:40～13:40

3回目 14:00～15:00

各回共に定員 20 名(先着順)・参加費無料

事前に申し込みが必要です！

申込み・お問合せ先：西東京市環境保全課

042-438-4042



環境団体活動展示

市内の環境活動団体による活動成果の

発表展示 10:30～15:00

エコダンスパフォーマンス

エコ楽器と古着でオリジナルのエコダ

ンスを踊ろう！ 10:50～11:10

事業者展示会

環境にやさしい省エネ商品やエコ商品

の展示や企業の取組の展示

10:30～15:00

スタンプラリー

会場内の展示ブースを回ってスタンプ

を6個集めると素敵なプレゼントがも

らえます！ 10:30～15:00

6月26日(土) 13:30～16:00

ごみ減量・資源化推進市民フォーラム

日々出しているごみ...減量や資源化について私たちは何ができるのか？一緒に考えてみませんか？

公演 テーマ：『多摩ごみ事情と市民にできること』

講師：東洋大学教授、西東京市廃棄物減量等推進審議会会長 山谷 修作氏

市民団体発表 テーマ：『ゼロ・ウェイストをめざして、次は“生ごみ”に全力討究』

発表者：ごみ資源化市民会議 坪井 照子氏

討論会 テーマ：『これから、ごみをどう減らす？』

コメンテーター：山谷 修作氏

パネリスト：坪井 照子氏・奥田 明子氏(西東京市消費者の会)

三村 元彦(西東京市ごみ減量推進課職員)

定員 50 名(事前の申し込みは不要です。当日会場にお越しください)

お問合せ先：ごみ減量推進課 042-438-4043



近隣市の環境月間関連イベントを紹介します！



練馬区

エコ生活のはじめの一步

練馬区役所 1階アトリウム (03-3993-1111 代)
6月 5日(土) ~ 11日(金) 環境月間パネル展示
豊玉リサイクルセンター (03-5999-3196)
6月 11日(金)・12日(土) 10:00 ~ 15:00
講演会『奇妙な生活』 - 詩人が見つめる世界のエコロジー
クリーンウォーク、環境クイズ、環境カルタ、紙芝居など
環境・リサイクルパネル展示、LED 電球・風力発電の実演、
環境団体・事業者取組み紹介・資源分別体験講座など

関町リサイクルセンター (03-3594-5351)
6月 12日(土)・13日(日)
講演会『太陽でクッキング

「ソーラークッカーを使って!」

散策ツアー「千川上水に沿って立野公園へ自然観察」
スケルトン清掃車の展示
講演会『重曹のある暮らし』
『エコ宣言で七夕飾りをつくろう』
体験学習『木と枝で作る動物たち』『野草クイズ』
展示: カブトムシの幼虫、昔のおもちゃなど

春日町リサイクルセンター (03-3926-2501)
6月 19日(土)・20日(日)

フードマイレージをたのしく学ぶ
ごちそうは世界中からやってくる
不用品がすてきに変身 エコクラフト体験
落語でわかる! エコの知恵 (那久寿亭良蔵氏)
知ってね絶滅しそうな動物たち
屋上芝生広場で天体観測
子ども環境カルタコンクール

各イベントの詳細は各会場にお問合せください。

武蔵野市

6月 9日(水) ~ 18日(金) 8:30 ~ 17:00
市役所 1階ロビー

環境展「地球のためにできることから」

環境に関するパネル展示

問合せ: 武蔵野市役所 環境政策課
(0422-60-1841)

東久留米市

第14回東久留米市環境フェスティバル きてみて感じてエコフェスタ

6月 19日(土)・20日(日) 10:00 ~ 16:00

会場: 東久留米市役所 (屋内ひろば・野外広場、ホール) 落合川いこいの水辺ほか

内容: 6つのゾーン別パネル展示 落合川・湧水・柳窪のDVD、林家ライス・カレー子環境漫才
スーパーボールすくい、省エネ診断、家庭用燃料電池の紹介、電気自動車展示、エコドライブシュミレーター
エコバッグデザイン表彰式、廃油手作りせっけん、鳥の折り紙ひこうき作り、青空市、
子どもたちの川塾、トムソーヤの川下り、南沢水辺公園まつり、
落合川水生公園活動体験、クルメイザーと「ゴミひろいパレード」など

各イベントによって日程や開催場所が異なります。事前にご確認ください。

問合せ: 実行委員会事務局 (東久留米市役所環境政策課) 042-470-7753(直通)

その他、すでに終わってしまいましたが、簡単にご紹介しておきます。

清瀬市 5月 23日(日) 来て!見て!学ぼう!環境フェアきよせ

服部津貴子氏の講演、市民団体展示発表、郷土博物館の展示、フリーマーケット、おちゃわんリサイクルほか

東村山市 6月 5日(土) 東村山環境フェア「私たちの地球、私たちの未来、救うのは今!」

草野満代氏の講演、小学生環境みどりポスター展示、映画上映など

小平市 6月 6日(日) グリーンエネルギーフェア2010

太陽エネルギー見本市・高効率給湯器や省エネ自動車展示・ソーラーF1カー工作など

たまごキャンドルとホットケーキを作ろう！

「きらきら西東京」主催

5月22日(土)と29日(土)の両日、大豆から生まれた材料を使ったキャンドルを作るイベントが行われました。

武蔵野大学のOBが中心となって、秋に開催予定の「キャンドルナイト」に向けてのプレイベントで、卵の殻を使ったかわいいキャンドルができました。大豆が材料とあって、乳白色のやさしい色合いと卵の丸い形がとてもやさしい印象をあたえていました。卵の中身はホットケーキに入れて、キャンドルが固まるのを待ちながらおいしくいただきました。

最後に、キャンドルの火を眺めながら、「キラキラ西東京」のメンバーで、今回の企画をした松本佳奈さんのキーボードと歌で締めくくりました。参加者は心なごむ時間を共有することができました。

卵に穴を開けるのが大変でした！



たまごキャンドルが揃いました！



『西東京市食育サポーター養成講座』

「ワーカーズ・コレクティブちろりん村」主催

5月30日(日)から、「西東京市食育サポーター養成講座」が始まりました。

第1回目は午前子ども教室開催の準備から料理体験への組み立て、エコ・クッキングの伝え方や子どもへの声かけ、サポートの仕方などを学びました。午後は実際に食材や子供用の包丁などを使って、子ども役と講師役に分かれて調理実習が行われ、和気藹々としながらも皆さん真剣なまなざしで熱心に取り組んでいました。

この講座は西東京市NPO等企画提案事業で、西東京市との協働事業です。

全5回の日程で、2回目(市内各所で実践研修)以外はエコプラザ西東京の多目的スペースで開催します。昨年は幅広い年代や男性の参加もありましたが、今回はより実践的、具体的な内容で“子ども料理検定”のサポートや地域の子ども料理体験を担う方の養成とあって、参加された方々は栄養士、グルメライター、料理教室主催者、調理師など、子どもたちの食育への関心の高さが伺われました。

西東京市の将来を担う子どもたちに対する食育への活動が期待されます。



子ども役と講師役に分かれて実践



献立はにんじんとひじきのご飯、油揚げのお味噌汁、酢のもの、卵とじの4品

— エコプラザ西東京 イベント・講座からご報告 —

エコダンスを踊りましょう！ In 環境フェスティバル

ペットボトルの楽器を持って練習



5月22日(土)からエコダンスの練習が始まりました。土曜日は午前10時から11時30分まで、木曜日は午後6時30分から8時までの1時間半、不用になったペットボトルから作った楽器を手に、ダンスの練習に励んでいます。

この事業はエコプラザ西東京協力員の事業企画チームが企画し、西東京市内のダンスサークル「K sパワー」の協力で実施、目標は6月19日と20日の「環境フェスティバル」と7月31日の「環境展」でのパフォーマンスです。

参加者は4歳から70歳代まで幅広い年齢層の老若男女の方々に、エコダンスでの交流を楽しんでいます。都合のつく時だけの参加で大丈夫ですので、ご興味のある方はエコプラザ西東京までお問合せください。

こどもたちも元気いっぱい！





エコプラザ西東京 講座・イベントのご案内

日 時	事業・講座名	場 所	定員・対象 募集期間	内容など
6月13日(日) 10月24日(日) 13:00～16:00	省エネ講座 緑のカーテン (2回講座) 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 20名(先着順) 市内在住・在勤・在学 の方で両日参加できる 方 申込受付中	第1回目 緑のカーテンの意義や効果、作り方の講 義と実践 第2回目 省エネ効果の報告会と株分けの実践 講師:金井修氏
ダンス練習日 6月12日(土) 10:00～11:30 6月10日(木) 6月17日(木) 18:30～20:00	エコダンスを踊りましょう! in 環境フェスティバル 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 50名(先着順) 市内在住・在勤・在学 の方ならどなたでも 参加者受付中 参加できる日程でご参 加ください。	不用になったペットボトルなどからエコ楽器 を作ったり、古着を再利用してエコダンス を楽しみ、6月19日(土)20日(日)の環 境フェスティバルと7月31日(土)の環境展で のパフォーマンスが目標です。 講師:エコプラザ協力員 三木美奈子氏 協力:協力員事業企画チーム ダンスサークルKsパワー
7月12日(月) 10:00～16:00	リサイクル講座 「布ぞうりをつくりま しょう」(初心者講座) 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 20名(先着順) 市内在住・在勤・ 在学の18歳以上 6/16(水)午前10時よ り申込受付開始	家庭にある使わなくなった、木綿のシー ツ、ゆかた地などで布ぞうりを作ります。 講師:華工房(エコプラザ登録団体) 持ち物:もめんの布地、裁縫道具、昼食、ほ か(詳細は申し込み時にお知らせ)
7月17日(土) 13:30～15:30	リサイクルアートスペース 第2回によきによき ワークショップ 「ボクの色、わたしの色に出会おう!」 ～レジャ教育 in 西東京～ 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 15組(先着順) 市内在住・在学の4歳 ～小学3年生とその保 護者 7/3(土)午前9時より 申込受付開始	リサイクル素材の音から色をイメージ、三 原色の絵の具をまぜて好きな色をつくり、 最後にみんなで1枚の大きな絵を描 きます。 講師:石井希代子氏 協力:「レジャ教育を広める会@キオッチョラ @」(エコプラザ登録団体) 武蔵野大学環境学科「レジャ武蔵野ブ ロジェクト」ほか

【講座の申込み方法】

電話・FAX・Eメールにて、名前(ふりがな)・住所・電話番号・年齢(学年)と講座名、中学生以下の方は保護者のお名前を添えてお申込みください。

問合せ及び申し込み先

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586 Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

西東京市のホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

(トップページ 暮らし 環境 エコプラザ西東京)でも詳細情報を掲載しています。

定員のある講座・イベントなどは西東京市内在住・在勤・在学の方が優先となります。

また日程や内容が若干変更となる可能性もありますのでご了承ください。



エコプラザ西東京協力員を募集しています!

環境に関心のある方、仲間と一緒にエコ活動をしてみたいと思っ
ている方、ぜひエコプラザ西東京の協力員になって活動してみませんか。

活動

事業企画チーム 広報チーム 工作・展示チーム
書籍・映像チームの4チームでの定期的な活動
上記以外のエコプラザの活動に関する提案
主催事業などでのお手伝い

登録期間 2年

詳細はエコプラザ西東京にお問い合わせください。

エコプラザ西東京 TEL:042-421-8585

FAX:042-421-8586

Mail:ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

「エコプラザ西東京協力員」チーム会議日程(予定)

チーム名	日時・場所
展示工作	6/14(月) 14:00～ プラザ棟1 講座室1
事業企画	7/29(木) 9:30～ 多目的スペース
書籍映像	7/21(水) 14:00～ プラザ棟1 学習コーナー
広 報	6/24(木) 13:30～ プラザ棟1 学習コーナー

ご興味のある方は事前にご連絡をお願いします。

私のいちおし 書籍

「生態系を破壊する小さなインベーター」

(社)家の光協会(1999年10月1日出版)

クリス・ブライト著(福岡克也監訳 環境文化創造研究所訳)



世界経済は生態系を混ぜ合わせ、ひとつの単調な環境を作り上げようとしています。湖沼ではブラックバスが他の既存生態を食い尽くし、有害な外来植物が繊細な生態を保っていた草原を攪乱させています。これらはいずれも人間の都合によって、本来あるべき場所から国境を越え移動してきた侵入者です。

植民地支配や企業の収益、個人の趣味やスポーツなど様々な理由から、過去に行われた大規模な生態系の崩壊が紹介され、人間の身勝手さに警告を与えています。

誰がその利益を得、誰がそのツケを払うのか。生物多様性条約や国際植物保護条約、ワシントン条約やアジェンダ 21、といった国際機関が作成した行動規範など、知っておきたいキーワードへの理解にも役立つ内容になっています。著者は年次刊行物「地球白書」の執筆者としても知られています。

お奨めポイント！

すさまじい生態系崩壊の事例が紹介されます。アフリカのビクトリア湖に外来テラピアが放流され、20年、30年後に生態系のバランスが崩れ始めます。この移入種(ナイルパーチ)が妖怪と化し、さらに妖怪となるホテイアオイを呼び寄せ、ビクトリア湖は崩壊します。世界最大の熱帯湖も一個のバケツを持った一人の人間でほろびるのです。

北アメリカの五大湖でも大西洋原産の魚版吸血鬼のウミヤツメが現れ、在来のトラウトやサーモンなどに多大な被害を与えました。いずれも人間の身勝手な行動の結果です。

森には木が、草原には草が、水には魚さえいればそれは何であってよいのか。「自然の質」について改めて考えさせてくれる一冊です。

エコプラザ西東京協力員(書籍・映像チーム) ^{たかはま つとむ}高濱 勣

マイ「エコ」紹介します！

私と生ごみの20年 -

私が生ごみに興味を持ち始めたきっかけは、野菜や果物の皮をむいていて、「このままごみにするのはもったいない、肥料にしよう」と思ったことです。ところが、そのまま庭に埋めても、なかなか土にはかえらず、いつまでも、しっかり、ジャガイモの皮、りんごの皮でいました。

そこで思い切って生ごみ処理機を購入しました。今から15、6年前のことです。主な利用は野菜のくずや果物の皮ですが、少人数家族の割りには意外に量が多く、2日分位で生ごみ処理機はいっぱいになってしまいます(約850g~1kg)。そこで水切りをして、乾燥させると、処理する時間も短縮されるので、ベランダで2~3時間は干すようになりました。お茶の葉の出がらしも良い肥料になると聞いてからは、忘れずに干すようになりました。処理時間は3、4時間ほどかかるのですが、見事なチップに変身！ふたを開ける瞬間がたまらないのです！さらに次の生ごみを加えてサラサラコナゴナ！手にとってはニコニコ！こうしてできたサラサラコナゴナチップスを庭土に混ぜたり植木鉢に混ぜたりします。

こうして15年つき合った生ごみ処理機もだいぶ古くなり、以前より音が気になり、時間もかかり、買い替えも考えるこの頃です。

それでも週に一度は、「ごくろうさま」と声をかけながら使用しています。

家庭で生ごみを一日10グラム減らすと年間326トンの可燃ごみの減量につながるというデータがあります。たったの10グラム、1円玉10個分です。毎日できるだけ水切りをして、減らすようにしています。小さなことですが、長く続けるように心がけていきたいと思っています。

先日、図書館へ行きましたら、子ども向けの「にんにん西東京」という西東京図書館発行の冊子に、的確で、わかりやすいことばを見つけました。みなさんもぜひ実践してみてください。

エコプラザ西東京協力員(広報チーム) 山口ヒロ子



さ っとあらって

し っかり分別

す ぐ出さずに水切りを

せ っかくの資源をムダにせず

そ れがわたしのごみ減量

見てきました! 西東京市庁舎太陽光発電パネル

昼から気温がどんどん上がった6月3日、西東京市田無庁舎屋上の太陽光発電パネルについて取材をしました。



この発電パネルは今年の3月18日に稼働を開始し、183Wのパネル112枚が設置され、年間の予測発電量は20,554kWhとなります。この電気をCO₂の削減効果に換算すると6,464kgとなり、杉の木462本分に相当します。

この日、屋上の外気温は26.5で、日差しがジリジリと感じられ、14時30分には表示パネルに交流発電量11.6kWhを表示していました。これは40Wの蛍光灯290本分で、田無庁舎の5階フロアの蛍光灯すべてをまかなう発電量に相当します。

田無庁舎の太陽光パネル設置と共に保谷庁舎の南分庁舎にも、183Wのパネルが56枚設置されました。秋には南分庁舎屋上には屋上緑化もされる予定です。太陽光発電と共に省エネが期待されます。

田無庁舎1階のホールに発電表示パネルが設置されています。南分庁舎の発電量は保谷庁舎の1階にやはり表示パネルが設置されています。

どの位の発電量があるのか、皆さんの目で確かめてみてください。



田無庁舎の表示パネル

田無庁舎の4月・5月の発電実績

月別 積算値	日射量 (kW・h/m ²)	総直流 電力量 (kW・h)	総交流 電力量 (kW・h)	二酸化炭素 削減量 (kg・CO ₂)
4月	122.54	2010.3	1885.1	592.9
5月	158.06	2676.4	2503.3	787.3

リレーエッセー シチズンシップ



いま読んでいる「無印ニッポン」という本で、最近私が気にしていた社会の状況を言い表す言葉として、ぴったりの言葉に出会いました。

それは「シチズンシップ」という言葉です。日本語にしたら「地元への愛着や誇り、責任」が良いのではないかと筆者は言っています。

私も、ごみの有料化で市民の見せた行動はまさに「市民力」と感じていました。他の市から10年以上も遅れた有料化でしたが、予想以上の減量で、資源を含めた1人当たりのごみ量は東京で最少の市になりました。すごい市民の力だと思いました。

ごみを減らすということは、意識を持った人だけがいくら頑張っても、トータルすれば小さなものです。この成果は市民全員がその気になってこそその数字です。有料化1年後の市のアンケートによる市民の反応も、「ごみの有料化によって、環境への関心が高まった」と、ほとんどの回答者が答えています。そして5000トン以上の減量という実績を出しました。

有料化は目にみえる対価を払うのでお金を余分に取られるという意識に直結しやすいのですが、有料化がきっかけで市全体のごみの量が減ると、処理費用も減り、その分の市の財源を他に廻したり、将来への借金を減らすことができ、結果として長い目で見ると市民は得をします。

この削減の成果は、『有料化』によって、市民が環境や財政の面なども考えて行動した結果だと思います。

これは、「シチズンシップ」=「地元へ愛着を持って、市民として果たすべき責任は果たす」という市民が多くなってきた現れであると感じます。

これからの広い面でのまちづくりにとって若い人たちも含めた多くの市民の「シチズンシップ」、大きな力になるのではないかと頼もしく思うところです。

「ごみ資源化市民会議」副代表 いけだ たてき 池田 干城



「エコエコ第16号」は協力員広報チームメンバーの活動で制作しています。

金成ハツエ・宮崎啓子・山口ヒロ子・谷島厚子（アイウエオ順）

一緒に広報として活動をされたい方、印刷や配布のお手伝いだけでもOKです。ご興味があれば一緒に協力員としてご参加ください。



交通

西武池袋線保谷駅から
バス吉祥寺駅・三鷹駅・田無駅行
保谷庁舎下車
西武池袋線保谷駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車
西武池袋線ひばりヶ丘駅から
はなバス第5ルート 保谷庁舎下車

西武新宿線田無駅から
バス保谷駅・天神山行 荒井竹下車
西武新宿線西武柳沢駅（柳沢駅通り
バス停）からバス保谷駅・天神山行
荒井竹下車
西武新宿線東伏見駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車

休館日のお知らせ

6月21日(月)
7月20日(火)